

■石部駅周辺地区都市再生整備計画【概要版】

●これまでの経緯

- 石部駅周辺地区は、東海道五十三次の宿場として石部宿が置かれ、宿場を中心とした街道の産業や文化が栄えた地域であり、その特徴は今現在も色濃く残る。
- 近年は、国道1号及び東海湖南IC（名神）がH28年に開通したことで京阪方面への交通の利便性が大きく向上した。
- また、湖南市の玄関口となるJR各駅（H27・甲西駅、R1・三雲駅）の改修・バリアフリー化等も着実に進み、安全性・利便性・アクセス性が向上している。

●課題

課題① 多様な人が利用しやすい交通結節機能を強化する必要がある。

課題② 旧東海道筋や周辺に点在する歴史的観光資源を活かすために観光交流機能を強化する必要がある。

課題③ 観光客や地域住民が安全に移動しやすい道路空間を形成する必要がある

●大目標「石部の歴史と歴史をつなぎ

交流が膨らむまちづくり」

目標① 安心・安全に集える湖南市西部の交流拠点の形成

目標② 歴史的な観光資源を活かした交流の促進

目標① 安心・安全に集える湖南市西部の交流拠点の形成

①石部駅南側駅前広場整備事業

石部駅の利便性及び賑わいを創出するために駅前広場を整備する。



⑧防犯カメラ設置事業

駅前広場の防犯性を高めるため、防犯カメラを設置する。



目標② 歴史的な観光資源を活かした交流の促進

②観光案内板整備事業

旧東海道への来訪者の誘導案内を目的として、地図を用いた案内板を設置する。



③誘導サイン整備事業

目的地まで円滑に案内するために、旧東海道沿いの動線上に矢印を用いた誘導サインを設置する。（5箇所）



④路面標示サイン整備事業

設置スペースの問題で誘導サインの設置が困難な箇所は、路面標示サインを設置する。（4箇所）



⑤市道石部駅大亀線整備事業

旧東海道筋の回遊ルートの視認性向上と歩行環境の改善を図るために、市道の高質化を行う。



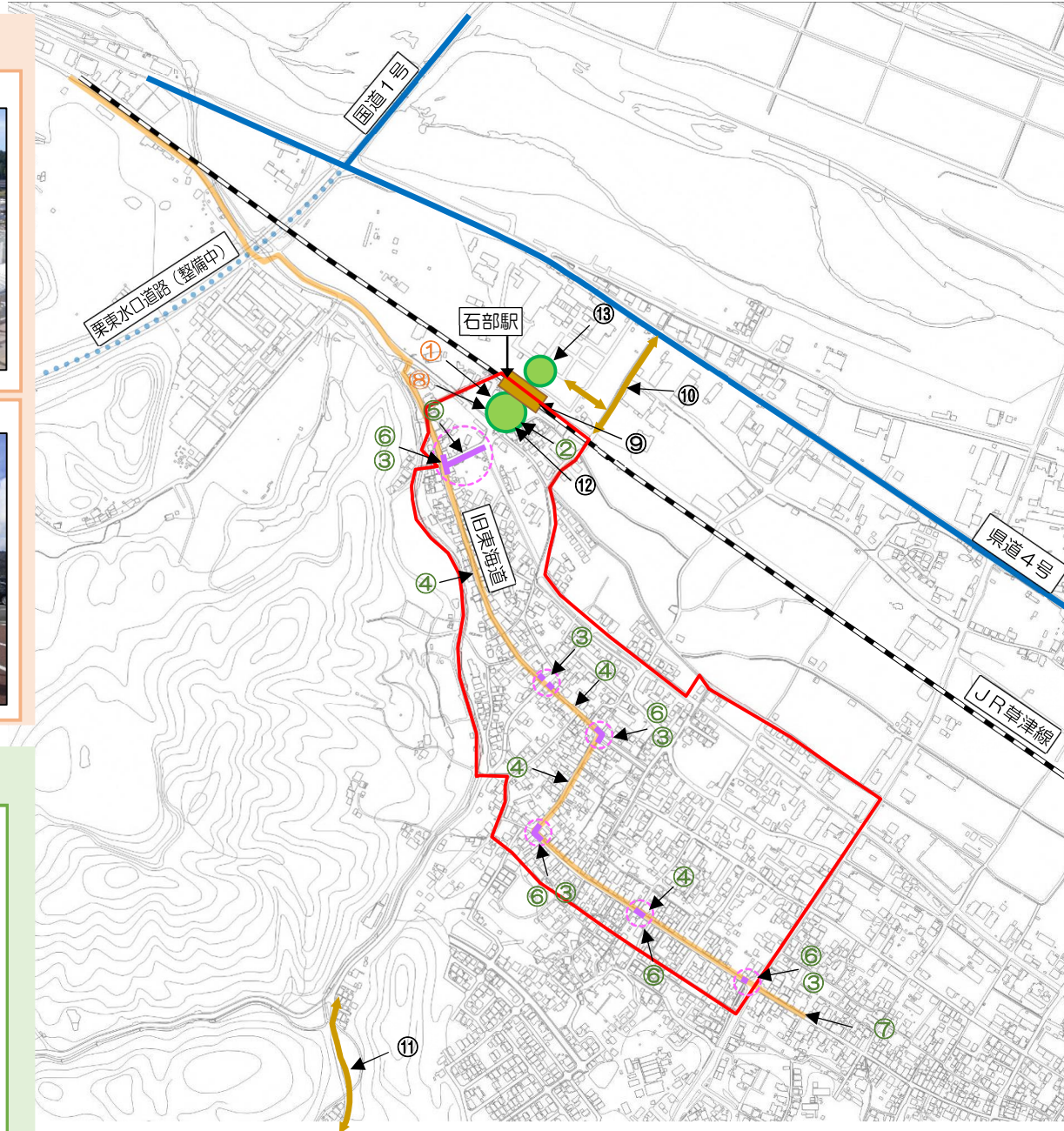
⑥旧東海道交差点部改良事業

観光客の回遊ルートの視認性向上と歩行環境の改善に向けて、旧東海道の交差点部の高質化を行う。

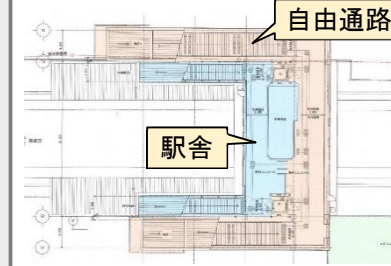


⑦景観まちづくり活動支援事業

魅力あるまちづくりに向けて、マネジメント協議会等が取り組む景観まちづくり活動への支援を行う。



関連事業 都市再生整備計画に関連する道路事業

⑨石部駅舎改築事業
自由通路整備事業

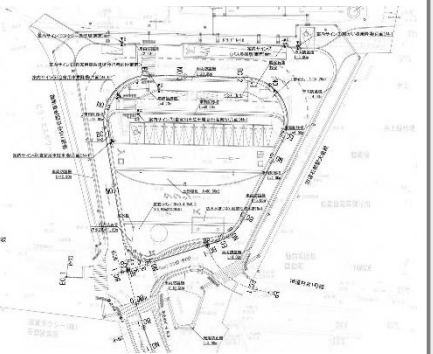
⑩(市)石原線歩道新設事業

⑪(市)宮ヶ谷線歩道新設事業



⑫石部駅南側広場内駐車場整備事業

駅へのバリアフリー化と駅の拠点性向上を目的として、既存の駅前広場に駐車場を整備する。



⑬石部駅北側駅前広場整備事業

鉄道利用の利便性向上と駅の拠点性向上を目的として、石部駅北側駅前広場を新設する。

